
古典学習と

生徒の自己選択の場面の設定

仲善・多度津中 小倉 直毅

1 授業実践

(1) 単元名

「徒然草をもとに級友にアドバイスしよう」

(2) 単元について

- ① 本単元は、学習指導要領第2学年の内容〔知識及び技能〕の(3)イと〔思考力・判断力・表現力等〕のC(1)オを扱う。

本単元では「徒然草」を用いて指導を行う。

「徒然草」は日本三大随筆に数えられる随筆文学である。その文芸形式の特質上、兼好法師が日常において観察した事柄や人々の姿を記録し、それに対する自己の考えや感想を末尾に述べるという構成をとっている点に大きな特色がある。いわば報告的な叙述と個人的な省察とが組み合わせられた文学形式であり、この点に兼好の独自性が表れている。

生徒にとっては、古典作品という成立年代や、用いられる言い回し等、普段慣れ親しんだ文章とは性質を大きく異にするため、内容を自分に関わりのあるものとして捉えることが難しいと推測される。しかし、随筆であるがゆえに、現代に生きる私たちの生活感覚や価値観とも通じ合う部分が多く、今も昔も変わらない、普遍的な人間のあり方を考える手がかりを与える題材であるともいえる。

- ② 本学級35名の生徒は全体的に明るく、素直な学級である。

一学期には「枕草子」第一段、第百四十五段、第二百六十段を読み、「をかし」や「さらなり」、助詞の使い方等の表現の特徴から清少納言の価値観について現代語訳を手掛かりにして理解する学習を行った。しかし、読み取った内容と自分の経験や見聞きしたこととを結びつけて作品を味わうには至っ

ていない。また多くの生徒が教科書に採録されている部分のみを読んで作品の全体像として捉え、本来の魅力に気付いていないという実態がある。

この単元を指導するにあたって、次の点に留意したい。

- ・ 古典に表れている人々の姿やそれに対する作者の省察と、現代に生きる自らの姿を重ねて考えさせることで、生徒一人一人にとっての古典作品の価値を考えることができるよう指導する。
- ・ 生徒が自らの姿と重ね合わせやすいよう、予め学習支援クラウド「ロイロノート・スクール」（以下ロイロノート）のアンケート機能で生徒自身の悩みを集め、それに対するアドバイスを兼好法師の価値観をふまえて考えさせることで、「徒然草」と現代に生きる自分たちの姿と重ね合わせることができるよう指導する。その際、悩みと章段の内容とを関連付けて思考することに難しさがあると考えられるため、悩みをいくつかに分類しておき、さらにそれらの悩みの解決につながる章段を示しておく。
- ・ 悩みのアドバイスにまとめる際、読んで理解したことを表出しやすいよう、理解度に応じたカードを用意しておく。
- ・ 学習の進度や深まりを実感させるために、振り返りを Google スプレッドシートに記述させる。

3 学習指導計画

- (1) 「仁和寺にある法師」を読み、「徒然草」の文学的位置づけや内容について大まかに理解する。 (2時間)
- (2) 「徒然草」をもとに級友の悩みに対するアドバイスを考える。 2時間 (本時1/2時間)
- (3) 自分が選択した章段について紹介し、単元の学習のまとめを行う。 (1時間)

(3) 本時の学習指導

- ① 目標 「徒然草」から級友の悩みに対するアドバイスを考える活動を通して、選んだ章段に表れた兼好法師のものの見方・考え方について理解する。
- ② 学習指導過程

	学習活動	教師の支援
つかむ	<p>1 百人一首をする。</p> <p>2 前時までの学習を振り返る。</p> <p>3 本時の目標を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習課題 どの章段を読めばクラスメートの悩みに対してアドバイスできるだろうか？</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的仮名遣いを意識させるとともに、下の句から次の歌の上の句と続けて読み、聞く雰囲気作りを行う 前時の振り返りを参照させ、自分の学習の進捗を確認する。また、本時の目標を立てる際の参考にするよう助言する。 全体で学習した「仁和寺にある法師」やその他の章段をもとにしたアドバイスの具体例を示し、活動の手がかりとさせる。 「解決する悩み」、「選んだ章段」、「章段の内容」、「私のアドバイス」の四点でまとめさせる。 予めアンケート機能で集約した悩みについて共有し、どの悩みに対してアドバイスをするかについて考えさせる。また、「悩み」と章段の内容を結びつけることが難しい場合は先に徒然草を読んでからどの悩みについて解決するか考えても良いことを助言する。 「解決する悩み」「選んだ章段」についてはGoogle スプレッドシートに記述させ、同じ悩みを選択した場合、どの章段を選べば良いかの参考にするよう助言する。また、同じ章段を選んでいる生徒が複数いる場合、生徒同士で章段の内容が正しく理解できているか確認するよう促す。 次回は今回まとめた内容をもとに同じ章段を選んだ人や違う章段を選んだ人、違う悩みについてアドバイスを考えた人、自分が考えた悩みに対してアドバイスを考えた人等と交流をし、「徒然草」の様々な章段について知り、自分の考えを広げたり深めたりすることを予告する。
つかう	<p>4 「徒然草」をもとに級友の悩みを解決する。</p>	
くらべる	<p>5 本時の学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>振り返り 徒然草には、現代の私たちが読んでも「なるほど」と思えるような考えや感想が書かれている。古典の時代の人たちと現代の私たちの悩み事、考え事、関心などは似ている部分がたくさんあると感じた。</p> </div>	
かえる		

2 成果と課題

(1) 成果

- ICTの活用により、古典学習に対する抵抗感を和らげている。
- 実際の生徒から出た悩みに対してのアドバイスなので、相手意識や目的意識が明確である。

(2) 課題

- 選んだ章段がそれぞれであるため、内容理解に生徒間の差が見られる。本時までと同じ章段を選んだ者同士で正しい理解ができているか確認をすべきである。
- 「章段の内容」をまとめる欄が、参照したサイトの書き写しになっている。「章段を選んだ理由」等にすれば、読み取った内容が自分の経験や見聞きしたものと結びつけて理解できる。